

23

令和元年度 草小積み再生プロジェクト

- 実施主体 公益財団法人阿蘇グリーンストック
- 実施場所 阿蘇地域の草原など
- 実施期間 令和元年7月～令和2年3月末



<背景・ねらい>

本プロジェクトはこれまで草小積み技術の伝承と阿蘇独特の景観の保全並びに野草の利活用促進を目的として、20～26基の草小積みを、毎年設置・展示してきた。また年ごとに広報活動を充実させ、情報発信を進めている。本年度は、草小積みの製作と展示を継続すると共に、広報のさらなる充実、昨年度牧野組合とともに作成した継承策の実施に取り組む。また、4年目の総括を行い今後の展開について検討する。

■実施概要

○草小積み制作と展示

以下の牧野組合にご協力いただき、阿蘇郡市内に計23基(24基※)の草小積みを設置した。

<製作場所(協力牧野組合)と設置数> ※別事業で村山牧野は1基製作。

大観峰付近(山田中部牧野組合)	5基	城山展望所付近(三閑牧野組合)	5基
箱石峠付近(町古閑牧野組合)	5基	らくだ山麓付近(村山牧野組合)	3基(4基※)
あそ望の郷くぎの(猶須牧野組合)	2基	萌の里(小森原野組合)	3基

○広報と啓発活動の充実

- ・阿蘇郡市内の観光関係機関による広報や、地域広報誌を通して地域住民への活動紹介を実施。

○技術や知恵の継承策の実現

- ・平成30年度に策定した継承策に基づき、後継者実習やガイドセミナーを実施。

○草小積み再生のしくみづくり検討

- ・これまでの取組みを総括し、草小積みの再生と継承に関わる、体制面・資金面での協働・連携の仕組みづくりについて検討、提案した。

■実施体制

- ・主催：阿蘇地域世界農業遺産推進協会
- ・協力：阿蘇地域の牧野組合、阿蘇地域の観光関係者、関係市町村の広報担当課 等
- ・事務局：阿蘇グリーンストック

■成 果

- ・阿蘇市、南阿蘇村、高森町、西原村の4市町村で、計24基の草小積みを展示することができた。設置した草小積みの草は、牛の飼料や敷料、最終的には堆肥として利用されることを通して草原の利用につながった。
- ・各地域で広報や情報発信を充実させ、阿蘇を訪れる方のみならず地域住民にも草小積みプロジェクトの取り組みを知っていただくことができた。
- ・草小積み継承のため後継者の実習を目的とした草小積み製作を行った。また、草小積みのある風景を案内するため、草小積みの役割や技術等、草小積みについて解説情報を提供するガイドセミナーを開催した。参加数は少なかったが、興味を持っていただけたようだった。

■実施者の感想

- ・後継者育成のための草小積み製作実習を行い、継承の第一歩となった。また、高森町の村山牧野組合では農業遺産の助成を受けて、学校の授業との連携により継承を進めている。本プロジェクトでは各地の草原再生の取り組みと連携して、草利用の知恵や技の継承に取り組んでいきたい。



草小積み製作